

## 額田地域における公共ライドシェア導入に向けた検討状況について

## 1 概要

- 額田地域で運行するコミュニティバスにおいて、下記の表に示すとおり、利用者が減少している路線があることから、地域ニーズに適応した移動手段に改変するための検討が必要である。
- 愛知県では、今年度、国の補助事業を活用し、地域交通の確保・維持のため、県内市町村での自家所有有償旅客運送（公共ライドシェア）等の立上げ支援を実施している。
- 愛知県が本市と連携し、住民が主体となって地域交通を考えるためのワークショップ等にコーディネーター役として専門人員を派遣し、地域課題の認識やその解決に向けた合意形成、さらに事業化への足固めをすることとしている。
- 公共ライドシェアという言葉が難しくわかりづらいことから、このワークショップの中では【ごきんじょさん～Go!近助参～】という愛称を用いることとした。  
 <地域住民の移動(Go!)を確保するために 近くの人が(に) 助ける(助けてもらう) 活動に参加しよう!>
- 10～12月で4回のワークショップを実施し、全5学区延べ94名に参加いただいた。

## 【額田地域のコミュニティバスの年間利用者数の推移】

路線	主な起終点	利用者数（人/年）		
		R4	R5	R6
下山地区線	岡崎げんき館前～市民病院～下山地区	2,581	4,115	4,049
形埜地区線	北部診療所～形埜地区	342	136	103
宮崎地区線	宮崎診療所～大雨河～千万町地区	290	192	149
豊富・夏山地区線	額田センター～鳥川・夏山地区	261	147	151
合計		3,474	4,590	4,452

## 2 第4回ワークショップの結果

## (1) 開催概要

日 時：令和7年12月18日（木） 18時30分～20時30分

会 場：額田センター集会室

参加者：実証運行に向けて参加：宮崎学区 8名

将来の検討等のために参加：形埜学区・下山学区 計5名

その他（愛知県職員、岡崎市職員、岡崎市社会福祉協議会職員等）

議 題：今後の進め方の確認・整理と運行計画の検討

## (2) 結果

- これまで総代会だけだった参加者に加え、現在宮崎学区まちづくり協議会で福祉タクシーの運行を実施する福祉委員会からも新たに2名が参加。
- 福祉タクシーを核とし、その仕組みにごきんじょさんを組み込む形で運行計画の作成を進めていくことを確認。
- 実証運行に向けてやることをリストアップすることで、実証運行までに協議すべき項目を確認。

### 3 これまでに出た地域からの意見

- 今はいいが、5～10年後には移動が大変難しくなり、今後の不安。(豊富・夏山)
- 飲んだ帰りや市民病院からの帰りの足がない。また、タクシーを利用すると、かなりの費用がかかる。(豊富・宮崎・下山)
- 保育園や高校生の送迎が大変。孫の送迎が祖父母の毎日の日課(豊富・夏山・宮崎・形埜)
- 豊かな生活を育んでいくため公共ライドシェアの導入を検討したい。(宮崎)
- 公共ライドシェアの導入には、運転手や車両の確保に課題がある。(夏山・宮崎・形埜)
- 公共ライドシェアで自家用車を使用することは抵抗がある。(宮崎)
- 公共ライドシェアで本宿アウトレットや豊川市へ行けるとよい。(宮崎)
- 公共ライドシェアを実際やっている新城市の民間事業者の話を直接聞きたい(宮崎・形埜)
- コミュニティバス(ささゆりバス)を効果的に活用する方法を検討したい。(下山)

### 4 今後の進め方

- 愛知県の支援事業である4回のワークショップは終了したため、今後は市と宮崎学区で実証運行に向けた運行計画の作成を進めていく。
- 学区の検討体制として、今後“宮崎学区まちづくり協議会”が中心となって検討を行う。
- 運行区域の検討にあたっては、既存交通との調和を保つため、今後、交通事業者を交えて協議を行っていく。
- 宮崎学区の検討状況を額田地域の他4学区にも適宜情報共有し、引き続き地域に必要な地域内交通を検討する機会を設ける。